日本国内　自動車解体事業者様向け

リチウムイオンバッテリー
取り外し・回収マニュアル

ルノー 5
(ZAA-R5E)

アルピーヌ A290
(ZAA-A5E)

2026年8月

目次

1. はじめに 3

(1) はじめに 3
(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項 4
(3) 安全な回収のための重要事項 5
1） 高電圧回路の遮断 5

2） 高電圧コネクター、端子の処理 5

3） 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止 5

2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼 6

(1) 引き取り依頼 6
(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項 6
取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス 6

(3) リチウムイオンバッテリー取外しに関する問い合わせ 6

3. 安全な作業を行うための重要事項 7

(1) 特別教育、指名作業の義務付け 7
1） 労働安全衛生法 7

2） 電子医療機器装着者の作業禁止 7

(2) 高電圧作業上の注意 7
1） 安全に関する表記について 7

2） 警告：以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。 7

3） 高電圧ハーネス、機器の識別 7

4） 高電圧コネクター、端子の処理 8

5） 作業中の携帯禁止品 8

6） 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管 8

7） 「高電圧作業中」の表示（次ページ参照） 8

4. 液漏れへの対応 10

5. 引き取りをお断りする事例 11

6. 安全な取り外しのために 12
(1) 車両外観上の特徴 12
(2) 準備品 13

7. 高電圧系部品と配線の位置 15

8. リチウムイオンバッテリー仕様 16

9. リチウムイオンバッテリー取り外し 17
(1) 高電圧遮断手順 17
(2) 冷却回路のクーラントの抜き取り手順 20
(3) リチウムイオンバッテリー取り外し手順 22
(4) 引き取りの準備 28

1. はじめに

(1) はじめに

リチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアル（以下「本マニュアル」）は、当社が輸入・販売する電気自動車が日本国内において廃車になった際、搭載されているリチウムイオンバッテリーを回収・リサイクルするための解体事業者向けマニュアルです。
リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、作業の取り扱いを誤ると感電など思わぬ重大傷害につながるおそれがあります。
安全に作業していただくために、事前に本マニュアルをよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

車種によりバッテリーユニットの形状、取り外し方法等が異なりますので、必ず車種をご確認の上、対応するリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルを熟読いただき、安全な作業を行ってください。

本マニュアル、及び各車種のリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルは、ルノージャポンホームページにも記載しており、今後発売する車種についても順次掲載していきます。

URL: https://www.renault.jp/after_service/recycle_data/price_02.html

(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項

ルノージャポン(株)では、当社取扱いの純正リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等による事故・損害等については、その一切の責任を負いかねます。
使用済リチウムイオンバッテリーの取り扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

<u>二次利用・高電圧に関する注意</u>

リチウムイオンバッテリーは分解・改造または不適切な二次利用を行うと、感電、発煙・発火、電解液漏出事故等が発生し、重大事故に繋がる恐れがあります。
また、リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、取り扱いを誤ると感電等重大事故の恐れがあります。取り扱い時には以下の項目を遵守してください。

- 分解、改造などバッテリーに手を加えないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと(衝撃を加えられると火災や液漏れを発生するおそれがあります。)
- 直射日光/雨水があたらない場所で保管すること
- 取り外したバッテリーは火に近づけたり、加熱したりしないこと

(3) 安全な回収のための重要事項

1) 高電圧回路の遮断

電気自動車は、最大 400 V 程度の高電圧バッテリーを有しています。取り外し作業を行う前に、必ず 12V サーキットブレーカーのロックを解除し、高電圧の遮断措置を行ってください。
12V サーキットブレーカーのロックを解除せずに高電圧部位の解体、分解、切断等を行うと感電による重度の火傷又は重大傷害や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

2) 高電圧コネクター、端子の処理

電気自動車から取り外したリチウムイオンバッテリーは高電圧のため取扱いに注意が必要です。取り外した高電圧ハーネスコネクター、端子は取り外し後直ちに絶縁処理を行ってください。

3) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止

安全上の事故防止のため、絶対に転売・譲渡・改造または不適切な二次利用をしないでください。
リチウムイオンバッテリーが適切に回収されずに改造されたり、転売・譲渡、又は不法投棄により第三者に渡ると、相手方でこれらの危険性が認識されず、重大な事故を引き起こすおそれがあります。
車両からリチウムイオンバッテリーを取り外した後は、速やかにリチウムイオンバッテリー回収受付窓口までご連絡を頂き、回収にご協力ください。

2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼

リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取り外してください。

(1) 引き取り依頼

＜LiB 回収受付窓口＞
取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

⇒リチウムイオンバッテリー（LiB）引取依頼システム（https://www.lib-jarp.org/）

＜LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問合わせ先＞
自動車再資源化協力機構（自再協）－JARP－
0570-000-994【平日 9:00～17:00（年末年始及び土日祝祭日を除く）】

(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

リチウムイオンバッテリーの具体的な取り外し作業は、各車両別の取り外し・回収マニュアルに沿って行ってください。
下記ホームページ上で最新版をご確認ください。

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス https://www.renault.jp/after_service/recycle_data/price_02.html

(3) リチウムイオンバッテリー取外しに関する問い合わせ

リチウムイオンバッテリーの取外しに関する問い合わせは、下記にご連絡をお願いします。

ルノー・コール：0120-676-365
受付時間：9:00～18:00（年中無休）

3. 安全な作業を行うための重要事項

(1) 特別教育、指名作業の義務付け

1) 労働安全衛生法

労働安全衛生法 第 59 条及び労働安全衛生規則第 36 条(特別教育、指名作業)

高電圧回路に関わる点検・整備を行う作業者には労働安全衛生法第 59 条ならびに労働安全衛生規則第 36 条に定められた特別教育の受講が義務付けられており、指名作業の手続きを取る必要があります。

2) 電子医療機器装着者の作業禁止

車両には強力な磁石を持つ部品が使われています。ペースメーカー等の電子医療機器装着者は、それらの機器に接近すると磁力の影響を受けるおそれがあるので、車両の作業は絶対に行わないでください。

(2) 高電圧作業上の注意

1) 安全に関する表記について

以下の項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください。

危険：守らないと死亡、又は重大な障害につながる事項及び作業要領
警告：守らないと生命の危険、又は重大な障害につながるおそれのある事項及び作業要領
注意：守らないと障害や事故、又は車両や構成部品の損傷につながるおそれのある事項及び作業要領で、特に注意すべき事項

2) 警告:以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。

- 電気自動車は高電圧リチウムイオンバッテリーを有しているため、取り扱いを誤ると感電、漏電などのおそれがある。取り扱い時は、作業手順に従い正しい作業を実施すること。
- 高電圧系の作業を実施する際は、必ず絶縁保護具を着用すること。
- 高電圧系のハーネス、及び部品の取り扱い時は、高電圧回路を遮断するため、必ず 12V サーキットブレーカーのロックを解除すること。
- 高電圧作業時は、担当者を明確にし、他の人が車両に触れないようにすること。また、作業時以外は耐電カバーシート等で高電圧部品を覆い、他の人が触れないようにすること。
- リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。
  (ニブラを使った解体、リチウムイオンバッテリーが車載されている状態でのプレス、フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等)

3) 高電圧ハーネス、機器の識別

高電圧ハーネス、コネクターはオレンジ色に統一してある。
また、リチウムイオンバッテリーをはじめ高電圧機器には「高電圧」のオレンジ色のラベルが貼り付けてあるので、これらのハーネスや部品には不用意に触れないこと。

4） 高電圧コネクター、端子の処理

取り外した高電圧ハーネスコネクター、端子は取り外し後直ちにリチウムイオンバッテリー側に絶縁テープを貼り絶縁すること。

5） 作業中の携帯禁止品

高電圧と強力な磁力を持つ部品が使われているので、短絡のおそれのある金属製品や、磁気記録破壊のおそれのある磁気記録媒体（キャッシュカード、プリペードカード等）を身につけて作業を行わないこと。

6） 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管

雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で保管すること。
取り外したリチウムイオンバッテリーは火に近づけたり、加熱しないこと。

7） 「高電圧作業中」の表示（次ページ参照）

高電圧系の作業を行っている車両には「高電圧作業中に付き触るな！」の表示を行い、他の作業者にも注意を喚起する。

警告！

高電圧作業中に付き
触るな！

作業担当者＿＿＿＿＿＿＿＿

警告！

高電圧作業中に付き
触るな！

作業担当者＿＿＿＿＿＿＿＿

4. 液漏れへの対応

リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。
電解液は、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合にも、リチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。
万が一、リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭き取ってください。
また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一、電解液に触れたり目に入ったりした場合は、多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。
リチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。

注意：電解液漏出時に用いる吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。

5. 引き取りをお断りする事例

本マニュアル対象外のリチウムイオンバッテリー、又は車種別取り外し・回収マニュアルに沿わない取り外しによるリチウムイオンバッテリーは原則として引き取りはお断りさせていただきます。

引き取り対象外のリチウムイオンバッテリーであるため、引き取りをお断りする事例
（代表例）

自社で取り外し作業を実施していないリチウムイオンバッテリー

本マニュアルに沿った取り外しが行われていないため引き取りをお断りする事例
（代表例）

① オレンジ色の高電圧配線類を切断しているもの
② ニブラ等重機を用いたためリチウムイオンバッテリーが変形・破損したもの
③ バッテリーケースを分解したもの
④ 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

6. 安全な取り外しのために

まず始めに、前項 3. 安全な作業を行うための重要事項　を熟読の上、以下に記載の内容に沿った安全な取り外しを行ってください。

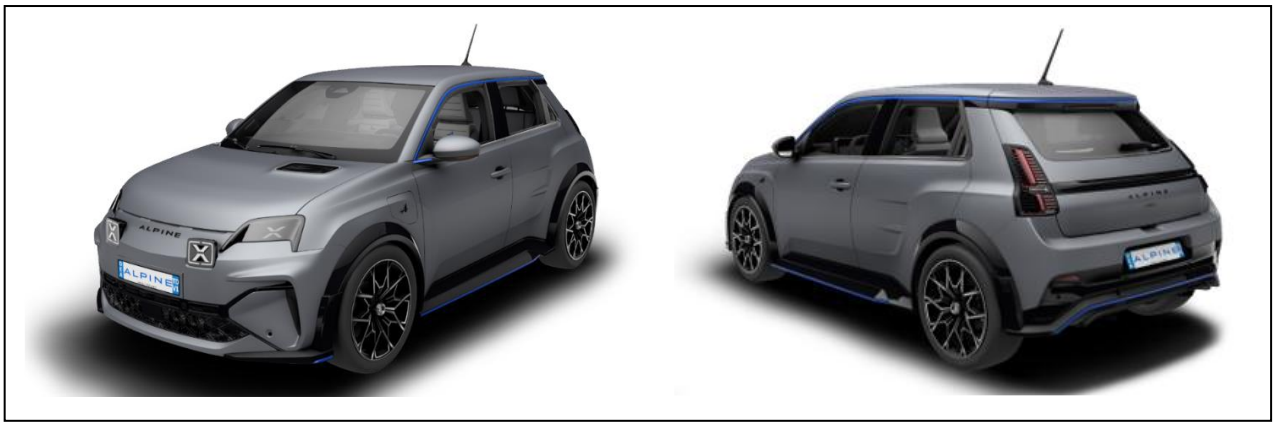
(1) 車両外観上の特徴

本マニュアルは、ルノー 5 / アルピーヌ A290 専用マニュアルです。
下記の特徴から車種を特定してください。

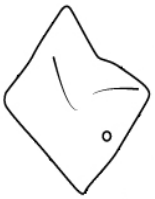
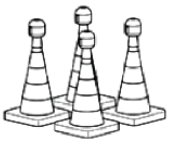
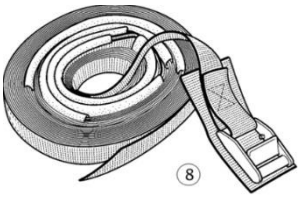
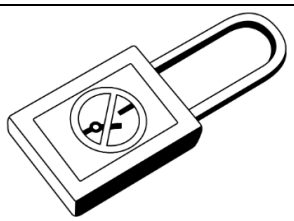
ルノー 5 （水冷式リチウムイオンバッテリー）

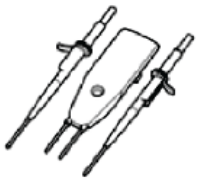
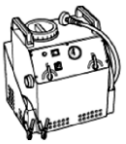
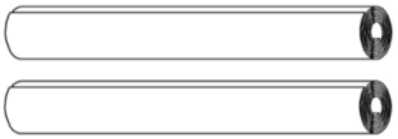
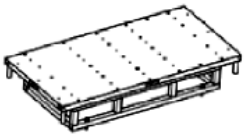


アルピーヌ A290（水冷式リチウムイオンバッテリー）



(2) 準備品

名称		用途
クラス 0 の電気絶縁グローブ	—	高電圧系部品の取り外し
作業着（主に綿素材）	—	高電圧系部品の取り外し
静電気放電靴	—	高電圧系部品の取り外し
フェイスシールド	—	高電圧系部品の取り外し
保護手袋	—	高電圧系部品の取り外し
バンプキャップ	—	高電圧系部品の取り外し
ダイアグノシスツール	—	高電圧系部品の取り外し
絶縁保護バッグ（代用品可）		高電圧ハーネスコネクター、端子の絶縁処理
絶縁テープ	—	高電圧ハーネスコネクター、端子の絶縁処理
マーキングキット		作業区域の境界設定
トリム取り外しレバーセット		ドアストライカプレートのロック、12V サーキットブレーカーのロック解除、冷却エンドピースのクリップ取り外し
ストラップ		リチウムイオンバッテリー移動時の固定
配線ロックツール		12V サーキットブレーカーのロック解除後の配線保護
リチウムイオンバッテリーロックアウト錠		12V サーキットブレーカーのロック解除後のバッテリー保護

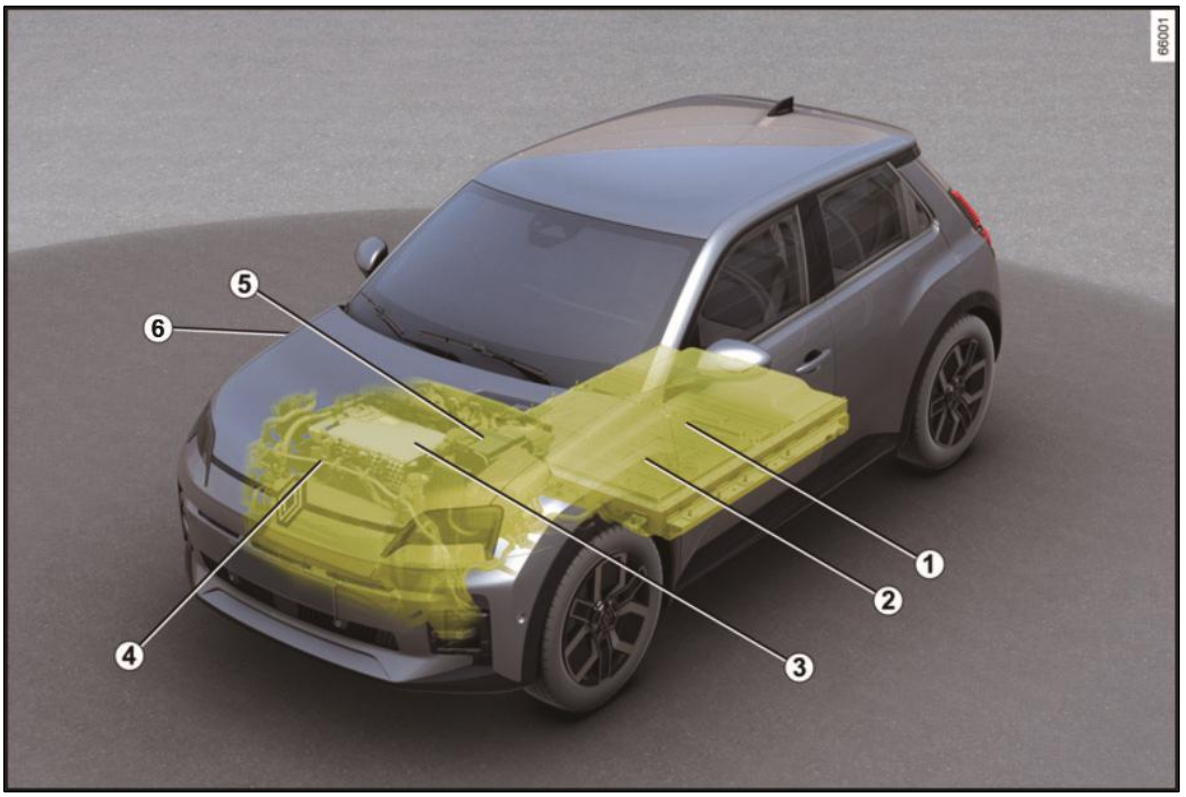
電圧検知器		残電圧の測定
電圧検知器フラップシール	—	残電圧の測定
ホースクリップのロングノーズプライヤ		冷却ラジエータのアウトレットパイプのクリップの取り外し
冷却回路のダイアグノシスおよび注入とエア抜きツール		クーラントの排出
クーラント回収トレイ	—	排出されたクーラントの回収
圧縮エアガン	—	残留クーラントの排出
絶縁ブランケット		作業中断時の感電防止
リフトテーブル		リチウムイオンバッテリーの取り外し
リチウムイオンバッテリー取外し/取付け用ツール または絶縁された台座		リチウムイオンバッテリーの取り外し
絶縁プラスチック製パウチ	—	リチウムイオンバッテリーのコネクタの絶縁、低電圧信号コネクタの絶縁

7. 高電圧系部品と配線の位置

電気自動車は、最大約 400V の高電圧システムを備えています。

高電圧系部品と配線の位置を確認し、十分に注意して作業を実施してください。

（例）ルノー 5

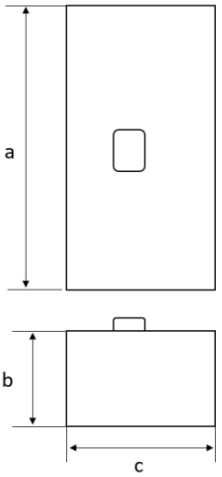


① リチウムイオンバッテリー（駆動用）
② 充電ソケット
③ 駆動モーター
④ 高電圧ハーネス（オレンジ色）
⑤ 12V セカンダリーバッテリー（電装品用）
⑥ 急速充電ソケット

8. リチウムイオンバッテリー仕様

ルノー 5/アルピーヌ A290 リチウムイオンバッテリー

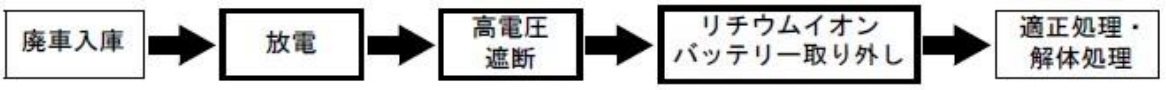
項目		仕様
種類		リチウムイオン電池
構成		4 モジュール （184 セル）
定格電圧	（V）	341V
パック重量	総重量 （kg）	296.7



パック外形寸法	“a”	（mm）	1,563
	“b”	（mm）	271
	“c”	（mm）	1,185

9. リチウムイオンバッテリー取り外し

注意：放電・高電圧遮断・リチウムイオンバッテリー取り外しは、液材やフロンガス抜き取りなどの適正処理前に行うこと。



（１） 高電圧遮断手順

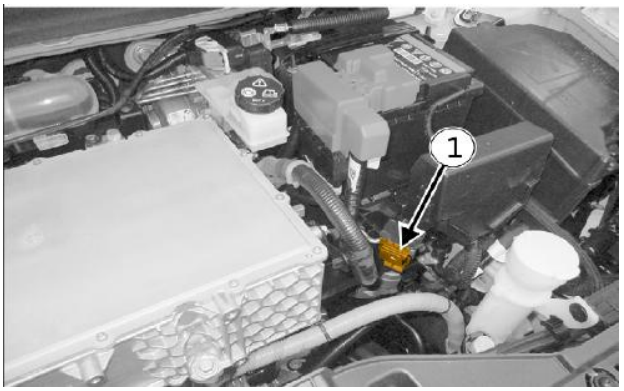
1. イグニッションを ON にして、システムを作動させる。
2. 運転席および助手席ウィンドウを開く。
3. 車両を 2 柱式リフトに載せる。
4. すべての電装品（ライト、フロントワイパ、ブロワ、エアコンなど）を OFF にする。
5. 車両を以下の状態にする。
   - ブレーキペダルを踏む
   - 解除ボタンを押して、パーキングブレーキを解除する。
   - パーキングブレーキの解除ボタンを押したまま、「パワー」ボタンを押してイグニッションをオフにする。
6. ボンネットを開く。
7. 作業区域の境界を設定し、ほかに作業が行われていないこと、作業区域に他に人がいないことを確認する。
8. フロント/リアドアおよび後の作業で必要になる開口部を開いたままにする。
9. トリム取り外しレバーを使用しフロント/リアドア開閉部のストライカプレートをロックする。
10. 始動カードを使用して車両をロックする。

注意：

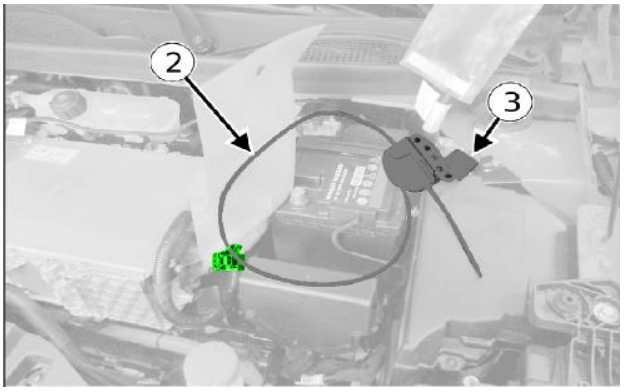
- 始動カードを使用してドアをロックすると、画面が消灯する。
- コントロールユニットがスリープモードになっているときに、オープンスイッチまたは電装品を作動させない。

11. ドアを開いたままにして、車両のキーまたはカードを車両範囲外に保管する。
12. 外部電圧源（充電ケーブルや外部の電気ツール）の接続を切り離す。
13. コントロールユニットがスタンバイ状態になるまで 6 分間待機する。または、ルーフコンソールから「SOS」ボタンの LED ランプが消えるまで待機する。

14. トリム取外しレバーセットを使用して 12V サーキットブレーカー①のロックを解除する。



15. 12V サーキットブレーカーに配線ロックツール②を取り付け、配線ロックツールにリチウムイオンバッテリーロックアウト錠③を取り付ける。

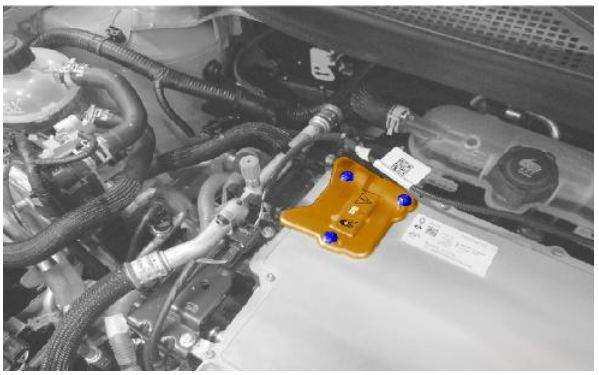


16. 配線ロックツールを離した状態でアセンブリリチウムイオンバッテリーロックアウト錠を取り付け、平坦な場所に置く。
17. 絶縁プラスチックポーチを使用して、12V サーキットブレーカーを絶縁する。

警告：12V バッテリを切り離す前に、インストルメントパネルがオフであること、ルーフコンソールの「SOS」ボタン LED がオフであること、コントロールユニットのデータ保存プロセスが完了するまで待機したこと（6 分間）を確認する。

18. 12V バッテリ「－」ターミナルを取り外す。
19. 絶縁プラスチックパウチを使用して、12V バッテリ「－」ターミナルを絶縁する。
20. 12V バッテリ「+」ターミナルを取り外す。
21. 絶縁プラスチックパウチを使用して、12V バッテリ「+」ターミナルを絶縁する。

22. 電圧検出器のアクセスフラップから 3 本のボルトを取り外す。



23. 電圧検出器のアクセスフラップを取り外す

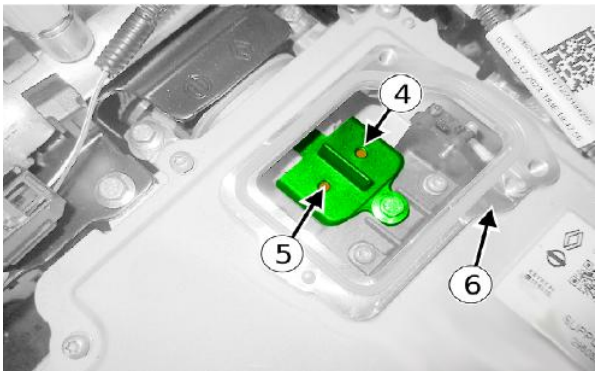
24. 12V サーキットブレーカーを開いてから 5 分経過したことを確認する。

25. 以下の保護具を着用する。
    - 作業着（主に綿素材）
    - 静電気放電靴
    - クラス 0 の電気絶縁グローブ
    - フェイスシールド

26. 測定を行なう前に、ツール検電器が適切に作動することを確認する。

重要：セルフテストが正しくない場合は、作業者に危険が及ぶ可能性のある誤ったデータが表示される可能性があるため、絶対に電圧検知器を使用しないこと。

27. 2 つの電圧測定箇所を介してツール検電器を使用し、電圧が無いことを確認する。
    - 測定箇所④と⑤の間
    - 測定箇所④とアース⑥の間
    - 測定箇所⑤とアース⑥の間



重要：電圧が 0 V でない場合、電気的危険が発生します。トラブルシューティング手順を実行し、問題が解決した場合にのみ次の手順に進むこと。

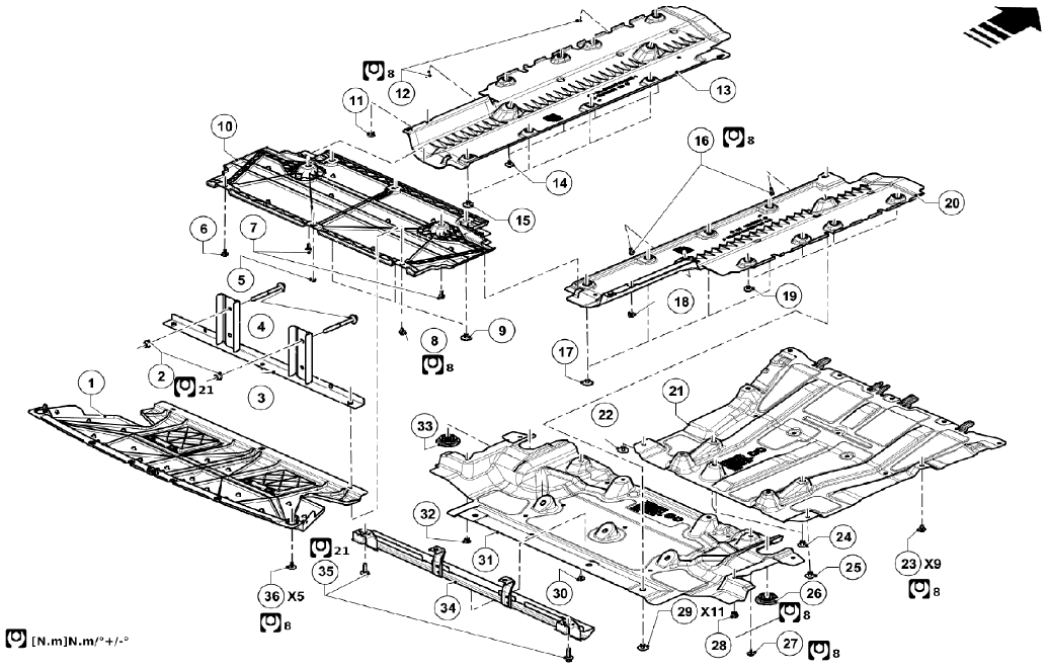
28. 測定後、ツール検電器が正しく作動していることを確認し、保護具を外す。

29. 操作を行なう際の汚染を防ぐため、電圧検知器フラップを一時的に取り付ける。

30. 電圧検知器のアクセスフラップボルトをピン止めして接触させる。

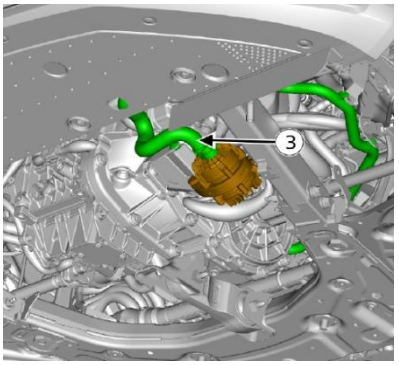
（２）冷却回路のクーラントの抜き取り手順

1. 左右フロントホイールおよびフロントホイールアーチライナーを取り外す。
2. 次の場所からカバーを取り外す。

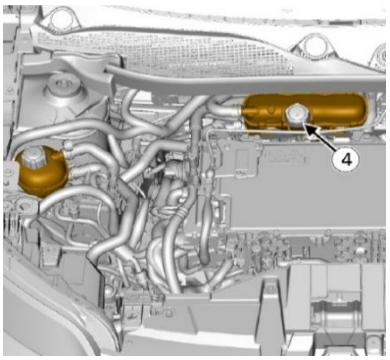


- エンジンカバーのクリップ
- フロント床下 ㉛
- ラゲッジルームフロントフロア ①⑩
- 床下左側の中央部 ⑬
- 床下右側の中央部 ⑳
- リチウムイオンバッテリーコネクタの保護バー㉞

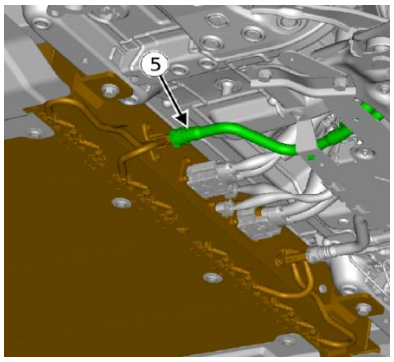
3. 車両の下部にクーラント回収トレイを配置する。
4. ホースクリップのロングノーズプライヤを使用して、冷却システムの電動クーラントポンプインテークパイプ③のクリップを外す。



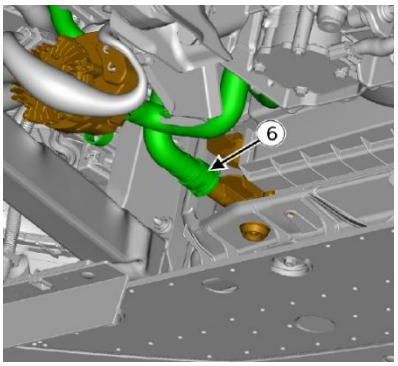
5. リチウムイオンバッテリー冷却システムエクスパンションタンクからキャップ④を取り外す。



6. 圧縮エアガンを使用してエクスパンションタンクのオリフィスから回路内にエアを吹き込み、できるだけ多くのクーラントを排出する。
7. 冷却システムの電動クーラントポンプインテークパイプ③を接続する。
8. ホースクリップのロングノーズプライヤを使用して、冷却システムの電動クーラントポンプインテークパイプをクリップで固定する。
9. リチウムイオンバッテリークーラントインテークパイプ⑤のクリップを外す。

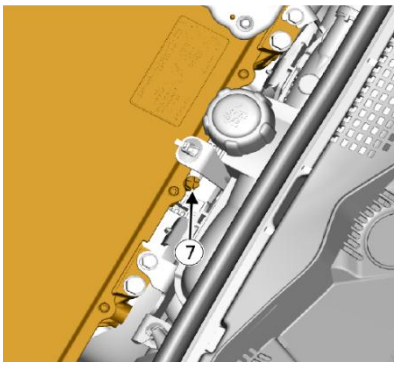


10. 圧縮エアガンを使用してエクスパンションタンク④のオリフィスから回路内にエアを吹き込み、できるだけクーラントを排出する。
11. リチウムイオンバッテリークーラントインテークパイプ⑤をクリップで固定する。
12. エンジンラジエータアウトレットパイプ⑥のクリップを外す。



13. 圧縮エアガンを使用してエクスパンションタンク④のオリフィスから回路内にエアを吹き込み、できるだけクーラントを排出する。

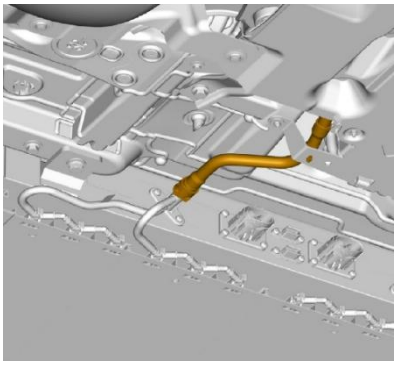
14. エクスパンションタンク④のキャップを取り付ける。
15. プラグ⑦を開く。

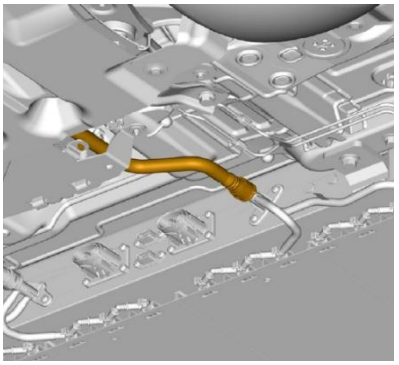


16. 圧縮エアガンを使用してバッテリブリードスクリュ⑦から回路内にエアを吹き込み、できるだけクーラントを排出する。
17. バッテリブリードスクリュ⑦を取り付ける。
18. エンジンラジエータアウトレットパイプ⑥をクリップで固定する。

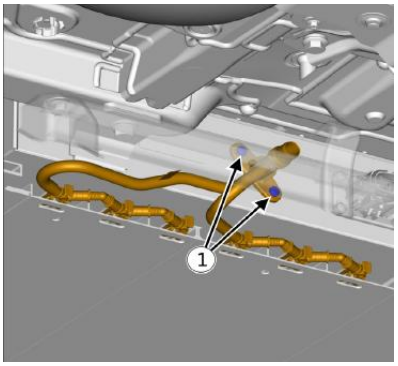
（３）リチウムイオンバッテリー取り外し手順

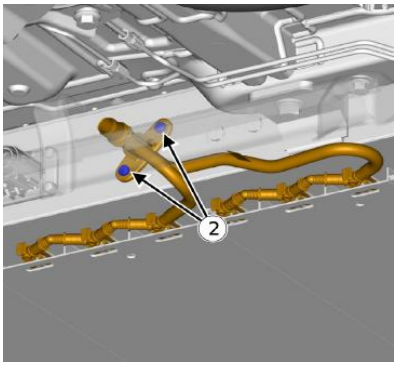
1. クーリングホースからクランプを完全に取り外す。



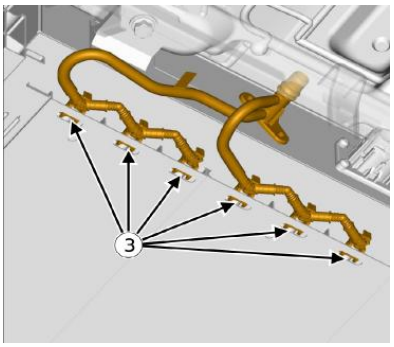


2. リチウムイオンバッテリーから左右のクーリングホースを外す。
3. リチウムイオンバッテリークーラントエンドピースの取り付けボルト①②を取り外す。

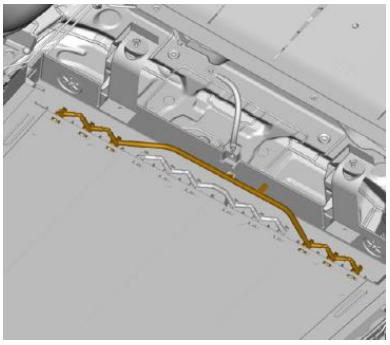


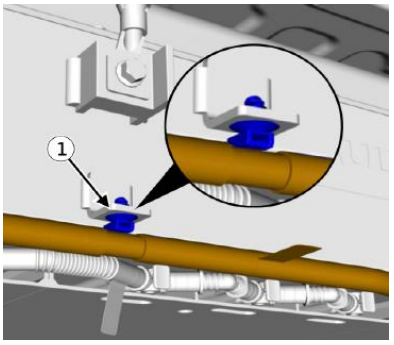


4. 両側のエンドピースをパイプからクリップを外して取り外す。

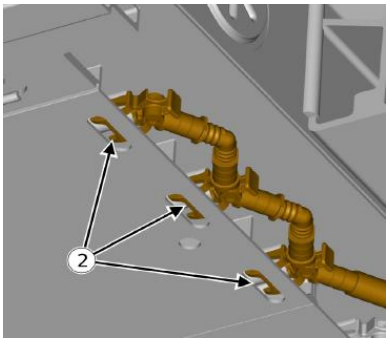


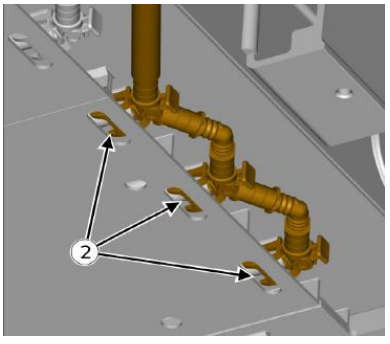
5. 側部のクーリングデフレクタからクリップ①を外す。



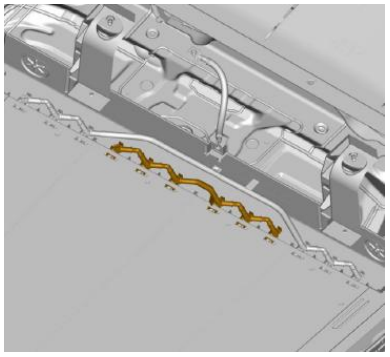


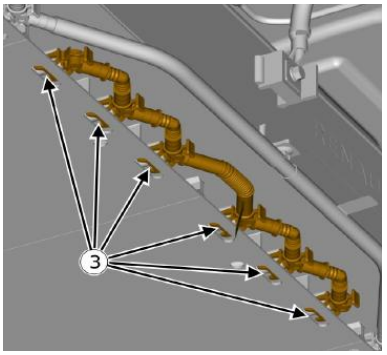
6. リチウムイオンバッテリーの両側のパイプからクリップ②を外し、側部のクーリングデフレクタを取り外す。





7. パイプからクリップ③を外し、中央のクーリングデフレクタを取り外す。



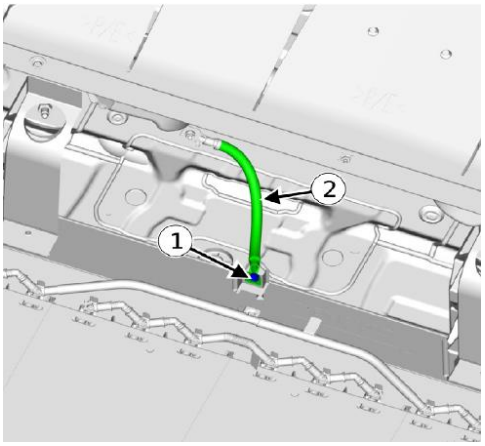


8. 以下の保護具を着用する。

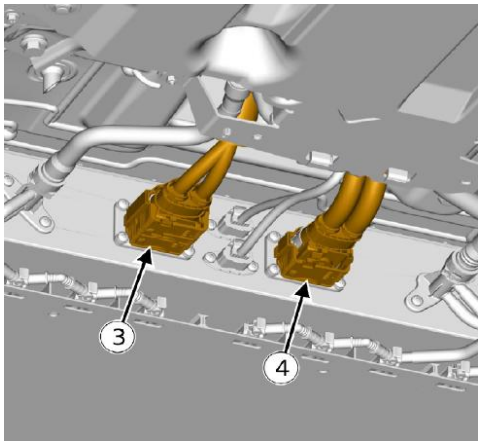
- クラス 0 の電気絶縁グローブ
- フェースシールド
- バンプキャップ
- 静電気放電靴
- 作業着（主に綿素材）

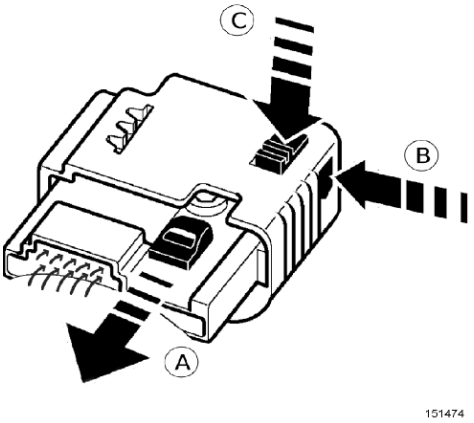
注意：グローブに損傷がないか確認すること。

9. リチウムイオンバッテリー後部でアースケーブルのボルト①を取り外す。
10. アースケーブル②を脇へ寄せる。



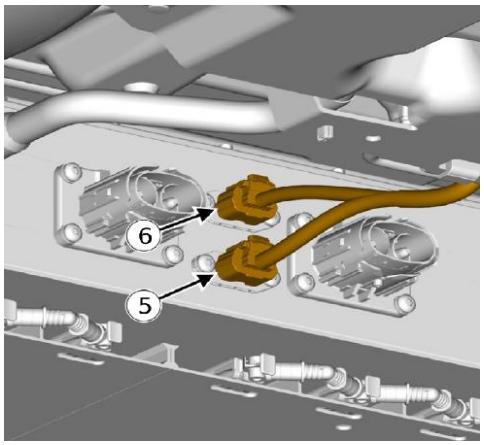
11. 矢印（A）、（B）、（C）で示すようにロックを解除し、リチウムイオンバッテリー高電圧コネクタ③および急速充電高電圧コネクタ④の接続を外す。

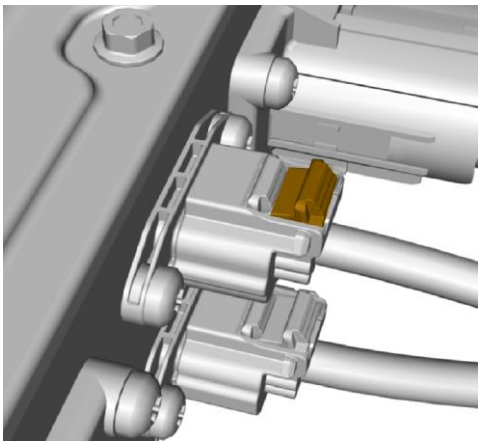




12. 絶縁プラスチック製パウチを使用して、高電圧コネクタを絶縁する。

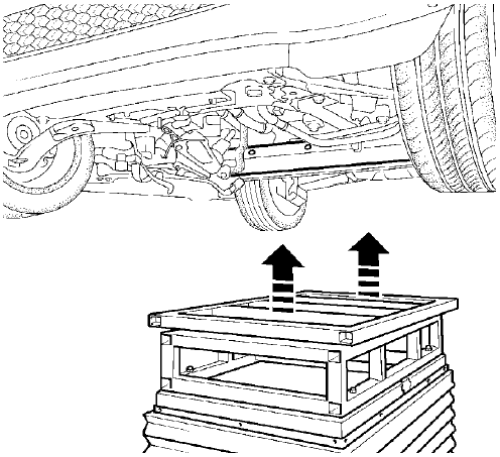
13. 下部低電圧信号のコネクタ⑤、上部低電圧信号のコネクタ⑥の接続を外す。





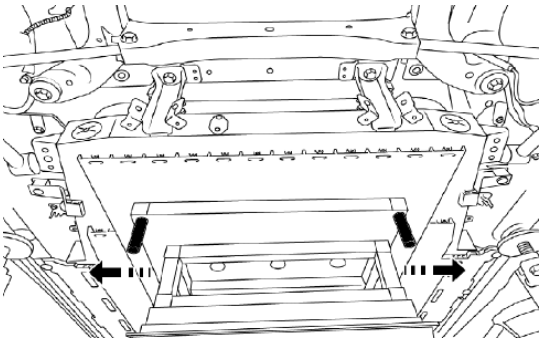
14. 絶縁プラスチック製パウチを使用して、低電圧信号コネクタを絶縁する。

15. リフトテーブルおよびリチウムイオンバッテリー脱着用ツールをリチウムイオンバッテリーの下に配置する。

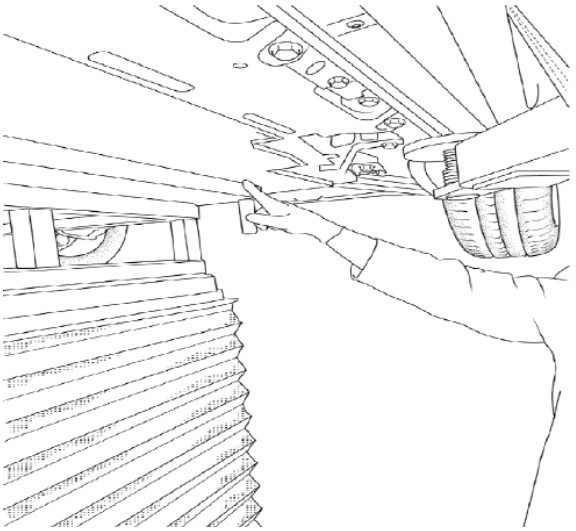


注意:リフトテーブルがバッテリに対して中央に配置されているか確認すること。

16. リフトテーブルを持ち上げて、リチウムイオンバッテリーに近付ける。
17. ハンドルを使用して、リチウムイオンバッテリー脱着用ツールを調整する。



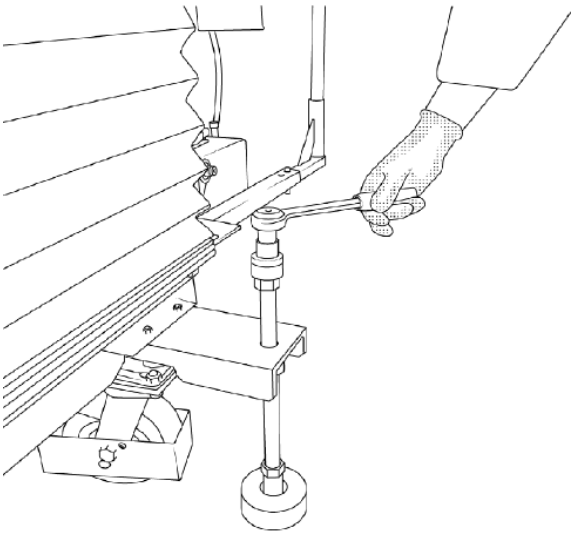
18. リフトテーブルおよびリチウムイオンバッテリー脱着用ツールが、リチウムイオンバッテリーの 4 つの角と接触するように設置する。



重要：車両の落下リスク

- リフトが車両と接触したらすぐにリフトの上昇を停止します。
- リフトテーブルでの作業全体において、車両の 4 つの支点がリフトの 4 本のパッドと常に接触していることが重要。

19. 調整脚を使用して、リチウムイオンバッテリー脱着用ツールをバッテリカバーと平行になるように調整する。



注意：リチウムイオンバッテリーを外す作業中にリフトテーブルが若干下がる場合は、コントロールを 1、2 回押して持ち上げる。

重要:

- 事故の危険を防止するため、リチウムイオンバッテリーを載せて上がった状態のリフトテーブルを動かさないこと。
- リチウムイオンバッテリーを移動する必要がある場合は、必ず安全ストラップを使用してリチウムイオンバッテリーをしっかりとリフトテーブルに固定すること。

20. リチウムイオンバッテリーのボルトを取り外す。

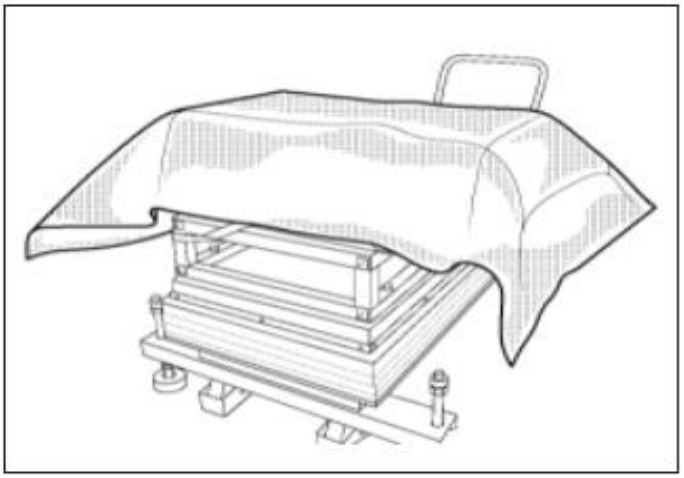
注意:リチウムイオンバッテリーのボルトを取り外すときに、リフトテーブルが若干下がる場合には、ペダルを数回押し、アセンブリの高さを調整する。

21. リチウムイオンバッテリーコネクタケーブルを脇へ寄せる。
22. リフトテーブルのリチウムイオンバッテリーを 20cm 下ろす。
23. リチウムイオンバッテリーアセンブリをリフトテーブルに固定する。
24. ストラップ付きバッテリーをリフトテーブルの上まで完全に下ろす。

重要:

- 事故の危険を防止するため、リチウムイオンバッテリーを載せて上がった状態のリフトテーブルを動かさないこと。
- リチウムイオンバッテリーを移動する必要がある場合は、必ずリチウムイオンバッテリーをしっかりとリフトテーブルに固定すること。

25. 絶縁ブランケットを使用してリチウムイオンバッテリーを保護する。



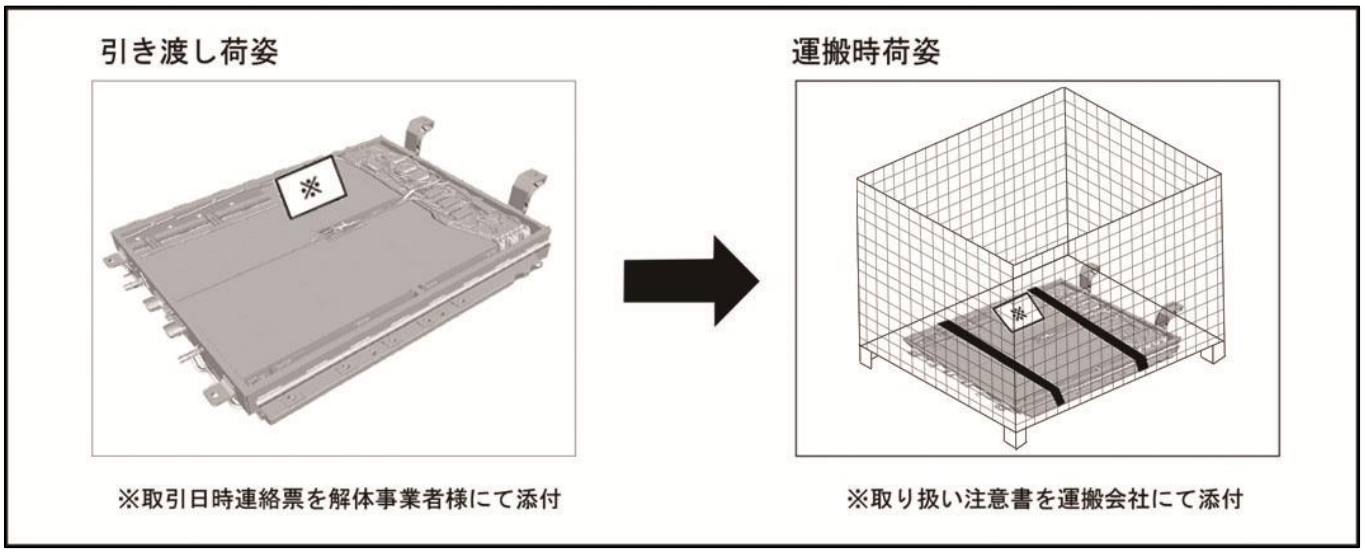
警告:事故防止のため、リチウムイオンバッテリーを載せて上がった状態のリフトテーブルを動かさないこと。リチウムイオンバッテリーを移動する必要がある場合は、必ずリチウムイオンバッテリーをしっかりとリフトテーブルに固定すること。

(4) 引き取りの準備

1．回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。

2．輸送業者が回収日に網パレットを持参します。

3．輸送業者へリチウムイオンバッテリーを「車上渡し」で引き渡してください。



本書は、著作権で保護されております。私的複製を除き、本書の全文又は一部をルノージャポン（株）に無断で複製、改変することなどを、媒体を問わず禁止します。このような不正使用行為は、民事上の損害賠償の、また刑事罰の対象となります。

©Copyright 2022 Renault Japon Co. Ltd., All rights reserved